世界史　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　多文化共生⑦

（　　）月（　　）日（　　）曜日　　（　　）組（　　）番　　名前（　　　　　　　　　　　　）

**今日のテーマ：（　世界の中のウチナーンチュ　）**

**Ⅰ：「沖縄移民」クイズ**

Ｑ１：日本以外の国に移住した日本人やその子孫を何と呼ぶか。（　　　　　　　　　）

移民した人々の

実態はどうなっているのだろうか

Ｑ２：「日系人」が多い国はどこか。

　（　Ａ：アメリカ合衆国　　Ｂ：ブラジル　　Ｃ：フィリピン　　Ｄ：ペルー　）

Ｑ３：現在、およそ何人の「沖縄県系人」がいると思うか。

****　（　Ａ：約１万人　　Ｂ：約４万人　　Ｃ：約１０万人　　Ｄ：約４０万人　）

Ｑ４：世界で一番多く移民者を受け入れている国はどこか。

　（　Ａ：ドイツ　　Ｂ：日本　　Ｃ：フランス　　Ｄ：アメリカ合衆国　）

**Ⅱ：デカセギ者の気持ちにより添ってみよう**

「Gambateando」を聴いて、デカセギのために来日した人の気持ちに寄り添ってみましょう♪

「Gambateando」（1991年）作詞・作曲　アルベルト城間

**[](http://ord.yahoo.co.jp/o/image/SIG=12j38fd9o/EXP=1292911885;_ylc=X3IDMgRmc3QDMARpZHgDMARvaWQDSklLaEhicEQybzdrVU06BHADNlouejU2eW00NEtrNDRPcDQ0SzU0NE9JBHBvcwMxMQRzZWMDc2h3BHNsawNyaQ--/*-http:/www.maruai.co.jp/pri/download/images/material/500147.jpg)**①「僕」はどこにいるか

【注意】

「GAMBATTEANDO」の歌詞は

著作権の関係上、

紙面に掲載していません。

左の質問は、

「Gambateando」を聞きながら、

日本語歌詞を読んで、

出稼ぎ者の気持ちを

考えさせるための質問です。

②「太陽の生まれる国」とはどこのことか

③なぜ「言葉の壁」があるのか

④ラモンはなぜ「差別の目」を向けられてしまったのか

⑤「Ｘ」にあてはまる語句を答えよ

⑥「Ｙ」「Ｚ」にあてはまる語句を答えよ

　Ｙ（　　　　　　　）　Ｚ（　　　　　　　）

⑦「ガンバッテアンド」は何語か

**Ⅲ：私たちに求められること**

Ｑ１：「移民小唄」と「Gambateando」の歌詞を読み比べ、２つの歌の共通点を探してみよう♪

Ｑ２：２つの歌を読み比べることで、今の私たちに求められることは何だろうか？

次は、その一例です。文を読みながら　　　　　　にあてはまる語句を考えてみよう。

**「私たちに求められること」**

や民族などの異なる人々が、互いの　　　　的違いを認め合い、

な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として

に生きていくこと

Ｑ３：上の文を漢字５文字で表現してみよう。

**多**

最初に「多」という文字がつくよ♪

【資料①　沖縄県『沖縄県多文化共生推進指針～イチャリバチョーデーで世界に開かれた地域の創造～』】

「国際化に対応し、在住外国人等の共生社会に向けた環境作りの施策を推進する必要があることから、イチャリバチョーデーの心で、在住する外国人を沖縄県民の一員として認識し、外国人も、県民も安心して暮らせる地域をめざす」

【資料②　アルベルト城間さんからのメッセージ　『CHAMPURREANDO』2011年より引用】

「多文化共生」そのものが沖縄だと思っているよ。だって中国から学び、大和（日本）から学び、アメリカから学び、すべて取り入れていい様に混ざっているよね。この島は、自分に合うもの、いいと思うものを取り入れて進化してきたよ。沖縄のこの感覚は、才能なのかな。

今、グローバリズムがいいかどうか言われているけど、共通の何かを持って理解し合うっていいよね。全く知らない違うものが出てくると受け入れようと気持ちが持てなかったりして、争いをすることになるんだよね。でも日本、沖縄には「一期一会」「イチャリバチョーデー」があるよね。これはシンプルで難しい。そこには努力が必要。でも努力だけではだめ、楽しくなければだめ、そこには音楽、食べ物が必要だよ。食べればおいしい！ってこと。そして違う文化と文化がぶつかり合って素敵なものが生まれたりするよね。

「世界のウチナーンチュ」って、ここにいる子どもたちもみんな世界のウチナーンチュ！だから沖縄にぬくぬくいるんじゃなくて、どんどん世界に行って世界を知ってほしい。沖縄のいいところをどんどんみんなに教えたり、逆に外のいいものを沖縄に持ってきたりしてほしい。「旅」は、この島の運命だと思います。昔から船に乗って中国へ行ったり、三線を持ってきたりした人たちがウチナーンチュ。これはDNAであり、世の中を平和にしていく人材。そういう沖縄であってほしい。世界のウチナーンチュはそういうことだと思います。

世界史　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　多文化共生⑦

（　　）月（　　）日（　　）曜日　　（　　）組（　　）番　　名前（　　　　　　　　　　　　）

**今日の評価（　世界の中のウチナーンチュ　）**

**Ⅰ：自己評価**　＊次の項目に対して当てはまる欄に○をつけてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 主な学習項目 | できた | 不十分 |
| １．ブラジルの沖縄そば屋の写真は、関心を持って見ることができた |  |  |
| ２．クイズではすべての項目に対して挙手をして自分の考えを示すことができた |  |  |
| ３．歌「Gambateando」の質問は全て興味を持って考えることができた |  |  |
| ４．グループで協力して「移民小唄」と「Gambateando」の共通点を考えることができた |  |  |
| ５．歌を通して移動（移民）することの精神的な負担について考えることができた |  |  |
| ６．グローバル社会の中で私たちに求められることは何か考えることができた |  |  |

**Ⅱ：50年後の沖縄の高校生へ**

これまで、ウチナーンチュが中国人、日本人、欧米人、南米人と接触してきた契機とその時の対応について学習してきました。これまでの学習を振り返りながら、

『高校生の時に沖縄の歴史を学習して、大人になってから努力したこと』を想像して下さい。

これを**50年後の沖縄の高校生へ**と題して手紙にしたいと思います。」

※沖縄の先人たちは、常に沖縄の将来を見据えて、歴史の局面で「より良い」と思う選択をしてきた。たとえば、むやみに争うことをしなかったり、他者の文化を受け入れたりしたことです。これからは、あなたたちがその役目を担うことになります。